

実施要項

●旅行期間 2012年8月21日(火)～8月26日(日) 6日間

●旅行代金 ¥ 348,000.-

●最少催行人員 15名様以上

(14名以下の場合、旅行代金が変更になりますのでご了承ください)

●旅行代金に含まれるもの

- ① 交通費：航空運賃（エコノミークラス）日程記載の各交通機関
- ② スタンダードクラス宿泊ホテル料金（1室2名様バス又はシャワー付き）
- ③ 食事：朝食4回付き（税・チップ等サービス料を含む）
- ④ 団体行動中の各種チップ等
- ⑤ 空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金（原則としてお一人様旅行用靴1個20kgまで）
- ⑥ 学校訪問費用
- ⑦ 通訳費用
- ⑧ コーディネーター費用

●旅行代金に含まれないもの

- ① 日程に記載されていない昼食・夕食費用
- ② 通信費、手荷物超過料金等、個人的な費用
- ③ 旅行取扱手数料(¥8,400)
- ④ 成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,540)
- ⑤ 任意の旅行傷害保険
- ⑥ 燃油特別付加運賃 ※この料金は出発前にご案内致します。
- ⑦ シングルルーム追加費用(¥42,000)
- ⑧ 個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用

●パスポートについて

パスポートは有効残存期間が6ヶ月以上必要です。有効なパスポートをお持ちでない方は各都道府県の旅券窓口にて申請をお願い致します。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請を行って下さい。取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド様にお送り下さい。取得までには約1週間から10日間かかります。

1. 戸籍抄本 1通（最近6ヶ月以内のもの）
2. 写真 1枚（縦4.5cm×横3.5cm）

●旅行申し込み方法

- ① 添付の旅行申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにてベストワールド様へお願いします。
- ② 申し込みと同時に申込金（¥50,000.-）をお支払いをお願いします。（申込金は旅行総経費の内金となります。）

●残金の支払い 7月19日(木)までをお願い致します。

●申込締切 2012年 6月 29日(金)

●振込先

銀行名：三菱東京UFJ銀行 神田支店
名義：ベストワールド株式会社
口座：当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。
* 30日前～3日前までの場合 費用の30%
* 2日前～出発前日までの場合 費用の50%
* 当日及び、出発後の取消の場合 費用の100%
※参加と同時に航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上キャンセルの場合実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は平成24年3月現在の特別航空運賃を基準にしております。出発前に大幅な為替変動などがあつた場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのであらかじめご承取願ひ致します。

●規約事項

旅行中天然事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があつた場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報をご利用させていただくことがあります。
総合旅行業務取扱管理者 浦尾 雄児

◆お問い合わせ◆
株式会社教育家庭新聞社
〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL: 03-3864-8241 FAX: 03-3864-8245

◆お申込み◆
ベストワールド株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
TEL: 03-3295-4111 FAX: 03-3295-4118
<http://www.bstworld.co.jp/bw/>

キリトリ線

第8回 フィンランド教育事情視察 参加申込書

フリガナ											生年	19	年	月	日生	性別	男女				
氏名											月日	(昭和)	(年)								
ローマ字名																					
現住所	〒										電話：() FAX：() 携帯：()										
会社名											電話：() FAX：()										
会社住所	〒										E-mail:										
緊急時の連絡先	名前										電話：() FAX：()										
										(続柄：)											
										〒											
*パスポートをお持ちの方はパスポート番号：										発行年月日： 年 月 日											
同室希望者	さん	シングル(有料)を希望する【 】 希望しない【 】										ビジネス(有料)を希望する【 】 希望しない【 】									

世界一の初等・中等教育及び小学校英語を見る

第8回 フィンランド教育事情視察

期間：2012年8月21日(火)～8月26日(日) 6日間



タンペレ市立図書館「新聞を読む人の像」(イメージ)

企画：教育家庭新聞社
旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号／日本旅行業協会(JATA)正会員
財産業教育振興中央会指定旅行社／全国英語教育研究団体連合会指定旅行社

フィンランド教育事情視察 <<6日間>> 日程表

OECD国際学習到達度 世界トップクラスのフィンランド

世界で最も進んだ教育先進国といえばフィンランドです。経済協力開発機構(OECD)による2009年の国際的な学習到達度調査で、科学は2位、読解力は3位、数学は2位の結果が公表されました。

これに比べ、わが国の結果は3年前の調査より科学的リテラシー(応用力6位⇒5位)と数学的リテラシー(10位⇒9位)の分野で順位を1つ、読解力では7つ順位を上げています。(15位⇒8位)。

全般的に見て成績は回復傾向にあります。フィンランドなど成績の上位の国と比べて、理解度が低く、学習に対する意欲や関心は最低レベルと言っても過言ではありません。なぜ、フィンランドの子供は“学カトップクラス”なのでしょう。

フィンランドの人々は「勉強は大切」「国の存続に教育は最も重要」と口々に言います。

又、小学校・中学校・高等学校の教師は大学院修士課程を修了していることが条件となっています。フィンランドの先生の意欲的で高いレベルの労働倫理がフィンランドの学校のレベルの高さの秘訣だと言われています。

人口は530万人で東京の半分以下で天然資源も少ない。600年にわたりスウェーデン、ロシアに支配されたため、民族の結束を保つために教育は重要なよりどころになったといわれています。



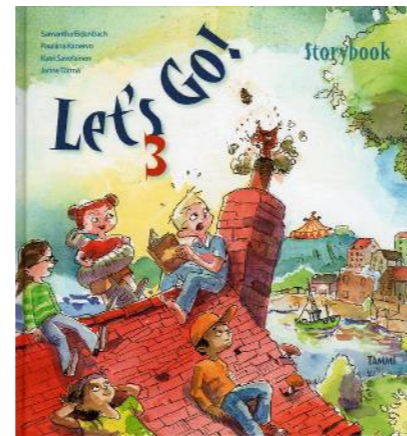
◆フィンランドの教師

フィンランドの総合学校の教師は修士号の取得が義務付けられている。教師の資格には学級担任教師と教科担当教師の2種類があり、学級担任教師には教育学の学位が、教科担当教師には各部門の学位の取得が求められている。フィンランドの教師にはマスターの学位が、教師免許の基礎資格になっていること、教師は優れた成績の学生たちがなりたがる職種の一つであることなどフィンランドの教育水準の高さを保証している。

◆フィンランドの英語教育

フィンランドでは小学校6年生くらいになると、英語で簡単な日常会話ができるようになる。高校生になると流暢に英語を話すようになる。

なぜ、みんな英語が話せるの？フィンランド人に聞くとよく「映画も吹き替えがないんです」という答えが返ってくる。日頃からテレビ放送を通じて英語に親しんでいる。人口530万人の「小さな国」であるフィンランドにとって、「英語は国を守り発展させる武器」という意識もある。フィンランドでは小学校3年生から高校まで一貫して英語教育が行われている。自治体によって異なるが、英語の授業時間数は決して多くなく、基本的に小学校3年生から中学校1年生までが週2時間、中学2・3年生が週3時間、高校は3年間で週8時間である。しかし、教科書の内容は濃い。英語は、ナショナルカリキュラムにより技能(スキル)科目、コミュニケーションの手段、他国の文化を学ぶ手段として明確に位置付けられている。生徒は中学校へ進学すると英語と第二国語(スウェーデン語)を学べ、高校ではロシア語やスペイン語など複数の言語が履修されている。



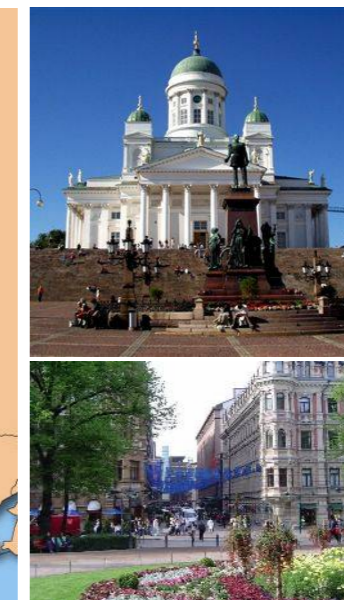
◆OECD 国際学習到達度調査とは

参加国が協同して国際的に開発し、15歳児を対象に実施している学習到達度調査。読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野について調査を行っている。

義務教育修了段階の15歳児が持っている知識や技能を、実生活の様々な場面でどれだけ活用できるかをみるものであり、特定の学校のカリキュラムをどれだけ習得しているかをみるものではない。2000年の開催から、3年周期で行っており、2010年の12月に2009年開催時の結果が発表された。

8月21日(火)	東京(成田) ⇒ ヘルシンキ	【ヘルシンキ泊】
午前	成田空港集合。搭乗手続き終了後、空路ヘルシンキへ。	
午後	ヘルシンキ到着後、専用車にてホテルへ。	
8月22日(水)	ヘルシンキ滞在	【ヘルシンキ泊】
午前	◆WSOY社 または OTAVA社訪問 フィンランドの2大教科書出版社。 国語の教科書5つの力『発想力』『論理力』『表現力』『批判的思考力』『コミュニケーション』を自然に身につける事が出来るよう構成されています。優れた英語の教科書も出版しています。※教科書の購入が出来ます。	
午後	◆ヘルシンキ市教育課訪問 フィンランドの教育について。教育は福祉だと言われている。教師の専門性の徹底、教師の採用基準、評価。	
8月23日(木)	ヘルシンキ滞在	【ヘルシンキ泊】
午前	◆クオッパヌミ学校センター内中学校訪問 フィンランドでは新しいタイプの学校。幼稚園から中学校までの一貫教育で、約600人の生徒が在籍している。子ども達の個性を伸ばすために、小中学校から多様なコースが準備されている。環境教育を通じ、小学校の生徒と先生が自分たちの住んでいる街に興味を持ち、理解し、より良い環境の為に自分の考えを何らかの形で表現できるように支援している。	
午後	◆ビヒティ高等学校訪問 フィンランドでは一般的な高校。クラスはなく単位制・5学期制(1学期は6週間)を取っている。フィンランドでは生徒の51%が普通科高校へ、40%が職業学校へ進学している。教育の機会均等、能力の優劣に関して視察します。	
8月24日(金)	ヘルシンキ滞在	【ヘルシンキ泊】
午前	◆ヌメラ職業学校訪問 または、ロホヤ市立小・中学校訪問(英語に力を入れている) 多数の自治体の共同出資で運営されている学校です。フィンランドでは勉強が得意な生徒を伸ばす教育がまだ不十分といわれ、エリート教育が必要だと言われています。ITを中心とするハイテク産業教育以外も必見です。	
午後	◆パッピランベルト小学校訪問 家庭の事情や病気などによって一時的に授業についていけなくなる事は珍しくはなく、中学校の9年間に25%の生徒が補修を受けています。現場の教師が創意工夫をし、生きる力を付けさせる総合学習に力を入れています。	
8月25日(土)	ヘルシンキ ⇒	【機中泊】
午前	◆出発まで自由行動	
午後	専用車にて空港へ。搭乗手続き終了後、空路帰国の途へ。	
8月26日(日)	⇒ 東京(成田)	
午前	成田空港到着。帰国手続き終了後、解散	

※この日程は平成24年3月に作成されました。航空機、訪問先等日程は変更になる場合があります。 ※利用予定航空会社:フィンランド航空、スカンジナビア航空 他



◆フィンランド共和国概要◆

面積:33.8万平方キロメートル
人口:約533万人
首都:ヘルシンキ
通貨:ユーロ
時差:-7時間

スカンジナビア半島の内側、バルト海の一帯に位置している。東にロシア、西にスウェーデン、北はノルウェーと国境を接している。国土の8割が森林であるこの国は、自然の宝庫。ノルウェーを流れるメキシコ湾流の影響で、緯度の割には穏やかな気候となっている。

